

四国アイランドリーグplus キャリアデザインプロジェクト



プロジェクトに対する想い

～アスリートの可能性を広げて、スポーツから四国を、日本を元気に～

「スポーツは人生を狂わせるのか…」

スポーツ界において問題になっている、アスリートの引退後の“セカンド”キャリア。

様々な原因が考えられますが、何よりの問題は、

“ファースト”キャリアである現役時代に、選手が気軽に自身のキャリアについて相談できる窓口がないことではないでしょうか。

現役時代のキャリアデザインが、ネガティブに捉えられがちな日本のスポーツ界。

「現役時代に先のことは考えない」という“当たり前”を変えないことには、この問題は解決しないでしょう。

選手達は心の奥底に、引退後の不安を抱えながらプレーしているはず。

スポーツに没頭することでどこかで見ないようにしている現実に目を向け、抱えている不安を洗い出し、現役時代に培った“スポーツマンシップ”を社会においてどう発揮するかを考えながらプレーすることは、スポーツ自体のパフォーマンスアップにも繋がるに違いありません。

今までなかなか連携のとれていなかった、選手、OB、リーグ、球団、企業すべての声を、キャリアデザインセンターが拾い上げ、チームとして一体になることで、現役時代、引退直後、就職後、どのステージでも、選手が自己研鑽できるシステムを作ります。

私たち四国アイランドリーグplusには、13年の歴史があります。

たくさんのOBが経験してきた、成功や失敗の『財産』を現役選手に還元し、

アスリート人材に可能性を感じていただける皆さまと連携することで、

選手それぞれが、野球というスポーツを通じて、“ファースト”も“セカンド”も関係ない、一貫した自分らしいキャリアを描けるように、伴走していきます。

そして、このプロジェクトは将来的に四国の枠を越え、日本中のあらゆるジャンルのアスリートの人生を彩ります。

四国アイランドリーグplus キャリアデザインセンター 代表 生山 裕人



四国アイランドリーグplus キャリアデザインプロジェクト

【プロジェクトの趣旨・目的】

- ◆選手、OB、リーグ、球団、賛同受入企業、キャリアデザインセンターが、チームとして一体となり、アスリートの『**トータルライフ (キャリア)**』をデザインする。
- ◆スポーツマンシップを通じて自分らしいキャリアを築き、スポーツで学んだことを生かして、社会貢献できるアスリート人材を輩出する。

【サービス内容】

- ◆アスリートならではの悩みを、**現役時代、引退直後、就職後、どのステージでも相談できる窓口を設置**
- ◆OB選手や、あらゆる分野で活躍されている外部講師による一貫した研修
- ◆アスリートの雇用を希望される賛同受入企業と引退後の選手やOB選手を就職マッチング

